

会員の声

平成ポリマー(株)

技術部 山田範生

私は、2年半程前に本学会の会員にさせて戴きましたが、弊社におきまして若干の土木分野の資材を製造、販売しておりますので、少し勉強させて戴こうと思い入会致しました。

今般、執筆依頼のご案内状を戴きましたが、何を書いたらよいのか取り留めのない結果に成ろうかと思いますが、誌面をお借りして弊社の会社内容等をご紹介させて戴きます。

弊社は合成樹脂（PE、PP）の加工業であり、主に産業資材、包装資材を製造、販売しております。生産拠点は4事業所であり、事業内容は次の通りです。

- ① 茨城工場（フラットヤーン、クロス、フィルム、その他特殊加工品）
- ② 奈良工場（食品包装用ラミネート、印刷、製袋）
- ③ 福岡工場（食品包装用ラミネート、重包装用ラミネート、その他特殊加工品）
- ④ 柳川工場（合成樹脂製濾過板）

以上の4工場で柔らかいものから堅いものまで各種加工をしております。

その中で若干なりとも土木に関係する事業の話に触れたいと思っておりますが、その1つであります茨城工場は南に霞ヶ浦を望み、西には筑波山及び筑波研究学園都市に隣接しており、上野から常磐線で約1時間20分の所に立地しています。その工場の主力製品はフラットヤーンからなるクロス（織物）ですが各種袋類、シート類等に幅広く利用されています。フラットヤーンと言うのは“平な糸”であり織物にする事によって軽くて丈夫な布に成ります。その特長を生かして各種分野に使用されていますが土木関連で代表的なものは土のう、ブルーシート、土木シートであり私共は軟弱地盤用のPP土木シートを生産しております。

昨今、土木技術の革新化、高度化に伴いより強度のあるジオテキスタイルが望まれていると聞き及んでいますが原料の選定を含め高強度テープの開発を模索しております。また、最近では建設省公募の“吸い出し防止シート”の開発も手掛けております。

一方、柳川工場（福岡県）では樹脂製の厚板を生産し、各種の形に切削加工することによって濾過板を作っておりますが、トンネル工事などで掘削した土砂の圧縮濾過としての用途にも利用されているようです。

まだまだ土木関連の事業が少ない弊社ではありますが、過日福岡正巳先生の講演を拝聴する機会に恵まれました。その折、日本の土質はよりジオテキスタイルが必要であり、改良改善が望まれるとのお話を承りました。従いまして、当学会で更に勉強させて戴きたいと存じますので今後とも宜しくお願い致します。